

第 2 学年	国語 科	使用する教材： ・教科書 ・ノート(B5 縦罫) ・ワーク(新・基礎の学習) ・百字帳 ・新 漢字教室 ・ファイル ・習字道具 ・鉛筆 ・タブレット ・国語辞書(教室配置)・書写の教科書・書写ブック(光村図書)	担当教諭 的 真里・久保田 翔眞
--------	------	--	---------------------

学習目標

(1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
(2)論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

通知表のつけ方

評価の観点		評価材料
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	○定期試験○聞き取りテスト ○日頃の小テスト ○春・夏・冬休み明けテスト
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	○ノート、ワーク、ファイル、プリント○音読／暗誦 ○長期休業時の課題
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使用している。	○書写（硬筆、毛筆） ○作文 ○授業のようす

授業計画

	単元	学習内容	付けたい力	備考
前期 (4月～9月)	1, 広がる学びへ	・見えないだけ  ・アイスプラネット ・問いを立てながら聞く ・枕草子 ・多様な方法で情報を集めよう ・漢字1 熟語の構成	・進んで語感を磨き、語彙を豊かにして朗読できる。  ・登場人物の言動から特徴を捉え、心情や考え方を理解できる。 ・意見と根拠を区別して提案内容を理解し、的確にメモが取れる。 ・現代語訳や語注を手がかりに、作者の物の見方や考え方が捉えられる。 ・社会生活から題材を決め、集めた材料を整理し伝えることができる。 ・熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりできる。	習字道具
	2, 多様な視点から	・クマゼミ増加の原因を探る ・具体と抽象 ・魅力的な提案をしよう ・単語をどう分ける？ ・書写(毛筆・硬筆)	・文章と図表を結びつけ、その内容を踏まえて内容を解釈できる。 ・意見と根拠、具体と抽象などの関係について理解できる。 ・資料を活用して自分の考えがわかりやすく伝えられる。 ・品詞を理解し、それぞれがもつ役割について理解できる。 ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解できる。	
	3, 言葉と向き合う	・短歌に親しむ ・言葉の力 ・類義語・対義語・多義語	・短歌の情景や心情を読み取り、鑑賞文が書ける。 ・文章を読んで理解したことを知識や経験と結びつけ、考えを深める。 ・類義語、対義語、多義語の概念について理解できる。	
	4, 人間のきずな	・盆土産 ・字のない葉書 ・表現の効果を考える ・言葉2 敬語 ・書写(毛筆・硬筆)	・登場人物の言動の意味などについて考えて内容を解釈できる。 ・文章の構成や表現の効果などについて考えることが出来る。 ・読み手の立場に立って、文章を推敲できる。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことが出来る。 ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解できる。	
後期 (10月～3月)	5, 論理をとらえて	・漢字2 同じ訓・音を持つ漢字  ・モアイは語る——地球の未来 ・意見文を書く ・立場を尊重して話し合おう	・同じ訓、音を持つ漢字について理解できる。  ・文章の構成や論理の展開について考えることが出来る。 ・自分の意見を支える根拠を明確にして意見文が書ける。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えがまとめられる。	習字道具
	6, いにしへの心を訪ねる	・平家物語 ・扇の的——「平家物語」から ・仁和寺にある法師 ・漢詩の風景 ・書写(毛筆・硬筆)	・作品の特長を生かして朗読し、古典の世界に親しむことが出来る。 ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に現れた物の見方や考え方を知ることが出来る。 ・作品の特長を生かして朗読し、古典の世界に親しむことが出来る。 ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解できる。	
	7, 価値を語る	・君は「最後の晩餐」を知っているか ・鑑賞文を書く ・走る、走らない、走ろうよ	・意見と根拠、具体と抽象などの関係について理解できる。 ・表現の効果を考えて描写し、自分の考えが伝わる文章が書ける。 ・用言の活用について理解できる。	
	8, 表現を見つめる	・走れメロス ・一字違いで大違い ・「ある日の自分」の物語を書く ・言葉3 話し言葉と書き言葉 ・漢字3 送り仮名 ・国語の学びを振り返ろう ・書写(毛筆・硬筆)	・多様な考えが出来る事柄について、自分の考えが書ける。 ・助詞、助動詞の働きについて理解できる。 ・話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解できる。 ・送り仮名の付け方の原則について理解できる。 ・伝えたいことを明確にして、構成を考え発表できる。 ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解できる。	

